



(様式2)

令和2 年 10月 8日

始良市議会議長 様

会 派 名 市政クラブ始輝  
代表者氏名 湯之原 一郎



### 調 査 研 究 報 告 書

下記のとおり実施しましたので報告します。

#### 記

- 1 日程 令和2年8月17日
- 2 場所 始良公民館2F会議室
- 3 目的 「防災及び地域の拠点となる公共施設の在り方」構造や特徴、メリット、デメリットについての研修  
及びLCトレーニングアリーナ(体育会)とスポーツビジネス LCアリーナの紹介、建設スピード等について
- 4 該当する政務活動費の使途項目  
研修費
- 5 支出経費の内訳と金額  
各会派にて折半 別紙会計報告書の通り
- 6 参加議員名  
湯之原一郎・和田里志・東馬場弘・湯元秀誠・犬伏浩幸・岩下陽太郎・鈴木俊二
- 7 活動成果の概要、所見  
別紙報告書の通り
- 8 成果物、資料等




領 収 書

納入	住所	始良市宮島町2番地		
	氏名	始良市議会 志成会		
款	項	目	節	
令和	2	年度	一般会計 特別会計( )	
金額	百万	千	百	円
		7	3	240
摘要	収入金の種類	単価	枚数	金額
	8/17 12:00~16:00		× 2回	
	会議室 12.3	260	3H	1360
	空調機 12.3	280	3H	1,680
	減額(コロナ対策)			

上記のとおり領収しました。

金融機関領収日付印



(始良市) 納付者用

③

領 収 書

始良市

一金 1,550 円

コピー料金として  
令和 2 年 8 月 17 日  
始良市長

始良市長之印

①

領 収 証

始良市議会 志成会 様 No. 281

金額	¥ 2 1 6 0
----	-----------

但 横断幕代として

内訳

現金 R2年 8 月 12 日 上記正に領収いたしました

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

公益財団法人 始良市文化振興公社  
代表理事 徳重武秀

印 号 条 印  
り 取 の 策 紙  
ま 入 規 税  
せ 印 定 法  
ん 紙 に 第  
を ま 三 五

係印  
藤山

ユクヨ ヴケ-390

②



領収書  
RECEIPT

1003257783

下記の金額正に領収致しました。

RECEIVED FROM

様

THE SUM OF

¥18,790 (税込)  
(TAX INCLD.)

印紙税申告納  
付につき品川  
税務署承認済

但し運賃・料金として  
IN PAYMENT OF AIR FARE-FREIGHT

航空券番号  
TICKET NUMBER 1311496435933

④ 関連航空券番号  
OTHERS \*\*\*\*\*

発券日  
DATE OF ISSUE 2020年08月13日

備考  
REMARKS クレジット(JL) ¥18,790

発行：日本航空株式会社 HNDPT

2020年08月13日

⑤

# 領 収 証

令和 2 年 8 月 17 日

始良市議会 志成会 様

金 30,000 円也

但 始良市議会「複合新庁舎とまちづくり」  
講演会 (講師謝金) として  
上記正に領収いたしました

住 所 東京都渋谷区

氏 名 JSC 株式会社  
代表取締役 井口 哲朗

合計 55740 円

うち 始輝 20531 円

市民ら33 11732 円

公明党始良市議団 5866 円

志成会 17611 円

領収書の原本は 志成会 に添付

令和2年8月22日

各党派合同講演会「複合新庁舎建設とまちづくり」報告

日	時	令和2年8月17日	13時30分より
会	場	始良公民館2F	第1, 2, 3会議室
参加者	議員	20名	
	執行部	20名	(議会事務局2名含む)
	一般	37名	
講	師	株式会社JSC代表取締役社長	井口哲朗氏(1級建築士)
演	題	未来を見据えた公共施設	建設の在り方について
司会進行		新福愛子議員	

当日の流れは以下の通りです。

13時30分	各党派代表挨拶	堂森忠夫議員
13時33分	参加者代表挨拶	武田氏
13時35分	議長挨拶	東馬場弘議長
13時40分	司会より井口講師紹介、続けて講演	

講演1 「防災及び地域の拠点となる公共施設の在り方」

構造や特徴、メリット、デメリットについて講演

質疑について

事前質疑①

縦揺れに対して耐震・免震はどこまで耐えられるのか。

⇒縦揺れは大きな違いはない。しかし振害の調査から横揺れが建物に甚大な影響を及ぼすことが分かってきた。なお、官公庁の施設については1, 25倍の強さの耐震性を持たせるよう定められている。

事前質疑②

免震構造の建物では、横揺れ時最大60cmほど建物が動くと言われるが5階建ても同様なのか。

⇒免震構造の建物は地震時階数に関係なく横方向に動く。免震装置のゴムやダンパーで制御する。

事前質疑③

始良カルデラのマグマ溜まりは地下15kmと深く大きな地震は起きないと報道があった。揺れの想定はどの程度か。

⇒「J-SHIS 地震ハザードステーション」における始良市周辺の30年年間で震度6弱以上の揺れが起こる確率はそれほど高くない。また近辺に断層も発見されていない。よって震度7以上の大きな揺れは極まれにしか起こらないと推測される。ただし断層はないわけではないので注意は必要。

事前質問④

震度7の地震が起きたと仮定して耐震と免震ではどのように違うのか。

⇒構造形式として耐震・免震・制震の3種類がある。どの構造も建物も十分耐えられるように設計されているので差異はない。ただし、耐震は地震動に沿った揺れをするが免震は耐震と比較して揺れが小さいかまたはほとんど揺れを感じないことが普通である。

事前質問⑤

免震は建設費やメンテナンス費など大きな費用は発生すると聞くが、耐震は発生するのか。

⇒有害なひび割れや鉄骨部分の曲がり変形が生じない限りメンテナンスや材料交換等の必要はない。

事前質問⑥

玉名市や武雄市は耐震で建設しているそのように評価するか。

⇒軟弱地盤や液状化の危険性が高い地盤、地中構造が傾斜していると免震に適さない。ファシリティマネジメントの観点から検討されて判断されたと思う。また耐震の方がコストメリットは高い。

事前質問⑦

全く揺れない建物がいいとは言えない。揺れることにより危機意識を高めると聞いた。どのように評価するか。

⇒「防災意識」向上の観点からそのような意見はある。ただ社会弱者の収容施設にはパニックにならないよう、免震を導入することは推奨している。

要望（野口氏）

我々の声はどのように通っているのか、チェック機能はあるのかしっかり検討してほしい。

質問（吉村議員）免震建物と耐震建物のジョイントはどうなるか。

⇒地震時、揺れる建物とあまり揺れない建物をジョイントすることは大変難しい。

質問（森川議員）免震構造のメンテナンスはどうなるのか。

⇒1年その後5年ごと、また国内で大きな地震が発生した場合、緊急点検が必要。

14時30分 終了 10分休憩

14時40分

講演2 「LCトレーニングアリーナ(体育会)とスポーツビジネス」

LCアリーナの紹介、建設スピード等説明

質疑について

質問（武田氏） 加治木の体育館と行政棟はマッチングできないか。

⇒可能である。まったく問題ない。

質問（若松氏） 議員はどの内容で検討しているのか。

⇒（堂森議員） 議論を進めるため勉強会を開いた。

要望（北之園氏） 内容が難しかった。支所の内容、まちの活性化について会を開いてほしい。

15時25分以上で講演会を終了し散会となった。

以上報告とします。

作成者 市政クラブ始輝 鈴木俊二